

電波時計 (掛時計) 取扱説明書

〇〇〇 特 長 〇〇〇

★電池交換不要 ソーラー電源搭載

光を電気に変えるソーラー・セルを搭載しています。また、明るさを3段階で測定できる「明るさテスト機能」を搭載しています。

★時刻を電波で修正

日本標準時を乗せた標準電波を定期的に受信することにより、クオーツ精度で動いている時計の時刻を標準時に自動修正します。

★眠る秒針

暗くなると秒針が停止して気になる音の発生を押さえます。

お買い上げいただきありがとうございます。

○お使いの前にこの説明書をよくお読みください。

○ご利用後は、必ず大切に保管してください。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。

(例. 4MY 〇〇〇など)

お客様相談室 ☎ 0120-557-005 (フリーダイヤル)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

ご使用上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



小さな部品などは、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

ご使用場所のご注意

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、内蔵電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃ (氷点下 10度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- ほこりが多く発生する所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる可能性があります。)
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる可能性があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。
(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。



お取り扱い上のご注意



時計は精密機器です。また、外装部材にガラスなど衝撃に弱いものがありますので、落したり、衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。また、破損した場合、人的・物的損害が発生するおそれがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を壁面に掛けた場合、ケースなどの静電気で壁面が汚れるおそれがありますので、定期的に汚れを落としてください。

光源について

この時計は光を受けて発電します。光源についてはつぎのような注意が必要です。

- ハロゲンランプや白熱電球など発熱を伴う光源の場合、時計表面が50℃以上にならないようにしてください。
- 直射日光を当てないでください。ソーラー・セルの劣化につながります。
- 室内照明は、白熱電球よりも蛍光灯がソーラー・セルの発電用光源として適しています。

蓄光性夜光塗料「ナチュライト」について

- 当社では、従来の蓄光に比べ長い時間発光するものを「ナチュライト」または「自然夜光」と称しています。（省略して「夜光」と呼称する場合があります）
- ナチュライトは紫外線を含んだ光（例 蛍光灯）により励起され光を蓄え、発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源としては適していません。
- 蓄光性夜光塗料の特徴として時間の経過とともに明るさが低下します。
- 60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上文字盤面に直接光りを当てた場合、およそ5時間で（視認距離1.5m 視力1.0）判読できなくなります。
- 目視による確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離などにより影響を受けます。
- 明るいところから暗いところに入った場合、目が暗さに慣れるまでは、見えにくくなります。

■ 電波時計について

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正して正確な時刻をお知らせします。

標準電波は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。

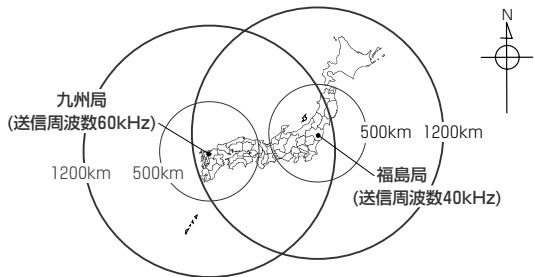
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波の送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

この時計は日本標準時のみに対応し、福島局または九州局を自動的に選択して受信します。

標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。

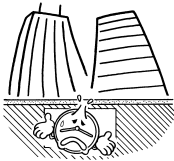
(<http://jijy.crl.go.jp>)

受信できる範囲は、条件のよいとき、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、**受信範囲であっても電波障害により、受信できない場合や誤受信することがあります。**



■ 電波を受信しにくい／誤受信しやすい環境について

受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。また、ノイズにより、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



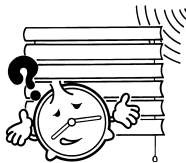
工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

■ ソーラー発電について

この時計は、光で発電していますので、時計をお掛けになる場所は事前に条件を満足することを確認する必要があります。

発電できる電力は、明るさと発電している時間によって影響を受けます。

1 日に必要な明るさと照明されている時間（設置場所の条件）

必要な電力を得るためには、一定の明るさと受光時間が必要となります。例えば、①または②のような条件が必要となります。

① 明るさが **300 ルクス以上（明るさテストで緑色）** で **4 時間以上** 照明される。

② 明るさが **150 ルクス以上（明るさテストで赤色）** で **8 時間以上** 照明される。

※時計は、電波受信できる環境または電波受信機能「OFF」の状態で、明暗センサーにより秒針が8時間以上停止しているものとします。

※この時計には「明るさテスト機能」(P.11)と「充電切れ予告機能」(P.11)が付いていますので、設置場所が適しているかどうかの参考になります。

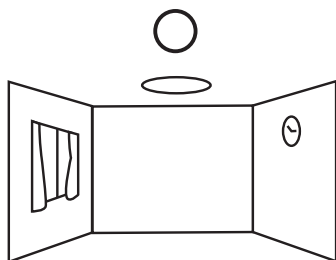
○発電の総量は簡易的に（明るさ）×（照明時間）で表すことができます。1日の発電の総量が1200以上になれば1日分の電力を確保できます。余った電力は内蔵の二次電池に蓄積されます。

○発電の時間は連続している必要はありません。例えば、日中、300ルクス以上の明るさで2時間（発電量600）、夕方以降150ルクス以上で4時間（発電量600）1日の発電総量が1200となり、必要な電力を確保できます。

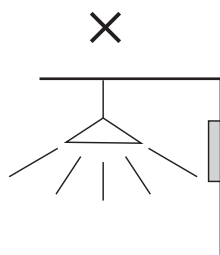
○設置する場所としては、リビングルームなど、日中外光が入り、夜も照明時間が長いところが望ましいです。逆に外光があまり入らないで、夜間も照明時間が短いベットルームなどはお避けください。

※時計に直射日光を当たらないようにしてください。ソーラー・セルの発電効率が悪くなったり、外装部材の変色や劣化を招きます。

※室内の明るさは、1日の間に変化します。また、季節によっても変動しますので、ときどき「明るさテスト」を行い、明るさと受光時間が、条件を満足しているか確認してください。



日中、外光が入り夜間も照明がされるリビングなど、明るさテストで「緑」または「赤」が点灯



つり下げ型照明光が十分に当たらない明るさテストで消灯

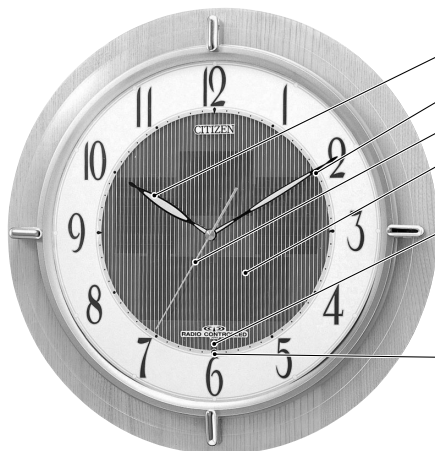
※時計前面を照明しても、明るさや照明されている時間が不足すると十分な発電ができません。

（参考）

ルクス (lx)：照度 照らされている場所の明るさを表す単位です。

■ 各部の名称と操作部の役割

図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。



<正面>

時針(短い針)

分針(長い針)

秒針

ソーラー・セル

光を電気に変えます。文字板の下に配置されています。

明るさランプ

明るさテストボタンが押されたとき、
 緑 : 300ルクス以上
 赤 : 150ルクス以上~300ルクス未満
 消灯 : 150ルクス未満
 ※ルクスの数値は目安で、絶対的なものではありません。

明暗センサー

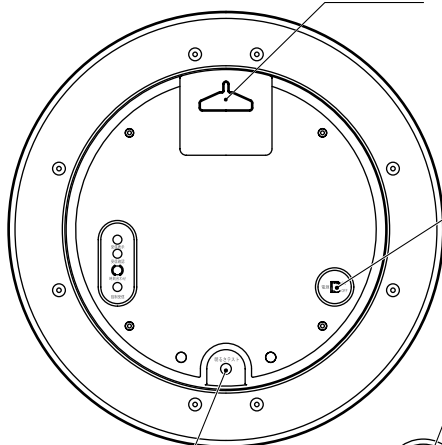
明るさを感知します。

…… 時針・分針の動き ……

時刻修正 : 順方向または逆方向に早送り
 で動きます。停止する場合もあります。
 通常表示 : 10秒単位で動きます。

…… 秒針の動き ……

時刻修正 : 早送りで動き、12時位置に
 移動したとき停止します。
 通常表示 : 1秒ステップで動きます。
 ※明暗センサーと連動し、暗くなると
 12時位置で停止します。
 ※「充電切れ予告」が機能すると明るい
 ところでも12時位置に停止します。



壁掛け用穴

電源スイッチ

使用するときONにします。

受信表示ランプ

受信の状態や結果を表示します。

受信確認ボタン

受信結果を確認するとき押します。
 5秒間点灯 : 24時間以内に受信成功
 5秒間点滅 : 受信失敗
 消灯 : 受信処理中または電波受信機能OFF

明るさテストボタン <裏面>

ご使用になる場所の明る
 さの確認をするときに押
 します。結果は正面の明
 るさランプに表示されま
 す。

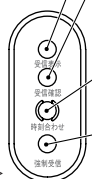
時刻合わせボタン

電波を受信できないとき、時刻合わせに使用
 します。

強制受信ボタン

電源スイッチを「ON」にしたり、場所を
 変えたり、誤表示したときに押します。

<操作部詳細>



ご使用方法

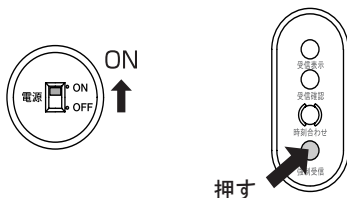
○設置場所は、「ソーラー発電について」と「電波を受信しにくい/誤受信しやすい環境について」を参考してください。

○強制受信ボタンを押したら、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。

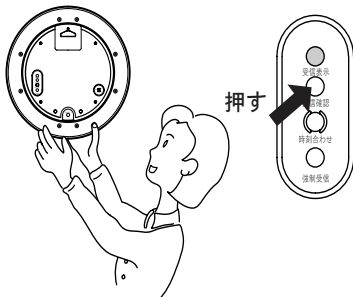
- (1) 裏面の「明るさテスト」ボタンを押して明るさを確認します



- (2) 電源スイッチを「ON」にして、強制受信ボタンを押します



受信が終わったら、裏面の受信確認ボタンを押して、受信表示ランプを確認します



- (1) ご使用場所で明るさテストをします

時計を掛ける場所で、明るさテストボタンを押して明るさランプが「赤」または「緑」で点灯することを確認してください。ランプが点灯しない場合は設置場所を変えてください。そのまま使いになると時計が停止するおそれがあります。詳しくは「ソーラー発電について」をお読みください。

※窓際など明るいところで明るさテストボタンを押してもランプが点灯しない場合は、「Q&A こんなときには (ソーラー編)」(P.12)を参照してください。

- (2) 電源スイッチを「ON」にして、強制受信ボタンを押してください

電波を受信しやすい窓際やベランダなどで、電源スイッチを「ON」にして、強制受信ボタンを押してください。受信表示ランプが約3秒間点灯し、針が順方向や逆方向に動いたり、停止したりします。

受信表示ランプが点灯していることを確認します。

- 受信中はボタン操作をしないでください。
- この時計には、電波サーチ機能が付いています。この機能により、時計を設置したい場所の電波状況を調べたり、電波状態のよりよい場所を探すことができます。詳しくは「電波サーチ機能について」(P.8)をお読みください。

- (3) 時計を掛けます

時計を掛けたい場所に移動し、裏面の受信表示ランプが点灯していることを確認して、「時計の掛け方について」に従い、時計を確実に掛けてください。

(4) 強制受信ボタンを押してからおよそ 15 分後に受信結果を確認します

時計を取り外し、受信表示ランプが消灯していることを確認して、受信確認ボタンを押してください。

受信表示ランプが点灯している場合は受信が完了していません。時計を掛けてしばらくお待ちください。

受信表示ランプが 5 秒間点灯：受信に成功

時計を掛けてそのままお使いください。

受信表示ランプが 5 秒間点滅：受信に失敗

受信に失敗した場合は、「電波を受信できない場合」をお読みください。

受信表示ランプが消灯したまま：

受信が終了していないか、電波受信機能が OFF に設定されています。

※受信に成功しても、電話の時報サービスなどと 1 秒以上違う場合は、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

電波サーチ機能について

電波受信ランプの点灯または消灯により、電波の状態を知ることができます。

(1)窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。

(2)電源スイッチを「ON」にし、強制受信ボタンを押します。

受信表示ランプが約 3 秒間点灯後、針が順方向または逆方向に動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15～50 秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ 1 分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから「強制受信ボタン」を押してください。

(3)受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。

(4)受信表示ランプの状態で、電波の状態を確認します。(電波サーチ中)

(a)消灯→電波を受信できません。

時計の向きや掛ける高さなどを変えてみてください。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、(1)からやり直してください。

(b)不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。

受信に失敗する可能性があります。

(c)点灯→良好な電波状態です。

※電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

※強制受信ボタンを押した後、電波のサーチをして、受信が完了するまでには、2～15 分かかります。

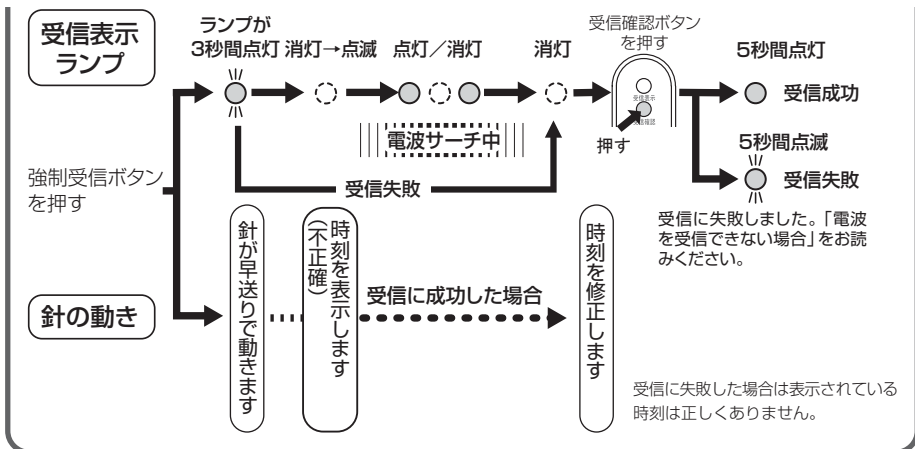
(5)受信確認ボタンを押して受信が成功したか失敗したかを確認します。

受信表示ランプが 5 秒間点灯：受信に成功

時計を掛けてそのままお使いください。

受信表示ランプが 5 秒間点滅：受信に失敗

受信に失敗した場合は、「電波を受信できない場合」をお読みください。



時計の掛け方について



強制

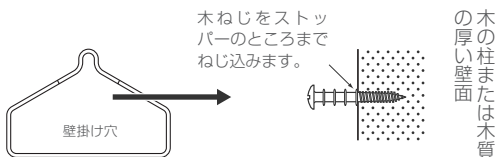


注意

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した掛具、ねじを選択してください。また、時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

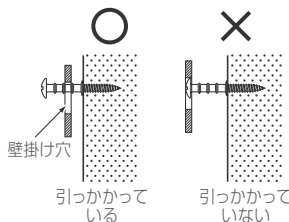


時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



木ねじを使用する場合



その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

(1) 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波が受信しやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻がテレビ、ラジオまたは時報サービスと近似している場合はそのまま、大きく違っている場合は、「手で時刻合わせをする方法」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

(2) 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

窓際など比較的電波を受信しやすいところに設置し、強制受信ボタンを押してください。このとき、時計の正面または裏面が送信所の方向になるようにすることが望ましいです。

(3) 時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダや窓際など比較的受信しやすいところで、電波の受信に成功させるか、手で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、誤受信により誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能を「OFF」にしてお使いになることをお勧めいたします。

手で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して、任意の時刻に合わせることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 手で時刻合わせをしても、電波受信機能が「ON」の場合、受信に成功すると時刻は自動的に修正されます。

時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
- ※ 秒針は時刻合わせボタンを押している間、「0秒」に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動してから1秒単位に秒を刻み始めます。

明るさテスト機能について

掛けた状態と同じ向きにして、裏面の「明るさテスト」ボタンを押します。時計正面の明るさランプの発光色や消灯により明るさの程度を知ることができます。

緑色：最適な明るさです。 300 ルクス以上の明るさがあります。

赤色：最小限の明るさです。 150 ルクス以上 300 ルクス未満の明るさです。

消灯：明るさが不足しています。150 ルクス未満の明るさです。

※消灯している場合は、その場所で使用しないでください。時計が止まるおそれがあります。

※ルクスの数値は目安で、絶対値的なものではありません。

充電切れ予告機能について

ソーラー・セルの発電量が不足すると、内蔵の二次電池から電気を取り出します。この二次電池の電圧が下限に達すると、明るいところでも秒針が12時位置で停止します。このような状態になりましたら、速やかに時計を明るいところに移動させて充電をしてください。秒針が停止したまま放置した場合、時分針も停止してしまいます。また、充電するのに多くの時間が必要になります。充電後は、ご使用場所の明るさなどが条件を満たしているか「ソーラー発電について」(P.5)に従いご確認ください。

※秒針が12時位置で停止してからの駆動時間は、ご使用の環境により大きく影響を受けます。

※二次電池の残量の程度を知る方法はありません。秒針を停止させての警告のみです。

充電に要する時間

晴れた日の日中に、直射日光を浴びない窓際の明るいところ（およそ10000ルクス）でおよそ半日ソーラー・セルに光を当ててください。充電が完了すると針が動き出します。もし、動き出さない場合は、二次電池の消耗が大きいようですので、同様な条件で2～4日充電をさせてください。

※充電をさせるときには、電源スイッチを「ON」にしてください。

※ソーラー・セルは室内用ですので、強い光を長時間受けるとソーラー・セルが劣化し、発電効率が低下します。

明暗センサー について

明暗センサーは、明るさを測定して、つぎの機能を提供しています。

秒針スリープ機能（夜眠る秒針）

明るさがおよそ10ルクス以下になると、秒針は12時位置に到達したところで停止します。明るくなると、秒針は現在時刻位置に早送りで移動します。

センサーは時計周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間照明時でも明るさが不足すると秒針を停止させることがあります。

※充電切れ予告機能が働くと、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになりますので注意が必要です。

Q&A こんなときには(ソーラー編)

①時計が動かない(針が動かない)

○時計裏面の電源スイッチは「ON」になっているか確かめてください。「OFF」の場合は、「ON」にしてください。

○電源スイッチが「ON」なのに動き出さない場合は、二次電池の電圧がかなり低下しています。明るいところで一度充電させる必要があります。「充電切れ予告機能について」(P.11)をお読みください。充電後は、「ソーラー発電について」(P.5)をお読みの上、条件を満足するか再度確認してください。

②十分に明るいところで「明るさテスト」ボタンを押しても「明るさランプ」が点灯しない

○明るさランプは二次電池を使用して点灯します。二次電池の電圧が低下しすぎると「明るさテスト」が行えなくなります。一度充電してからお試しください。

目安として「充電切れ予告機能」により、秒針が停止した状態では明るさテストは行えますが、時分針も停止した状態になると「明るさテスト」ができません。

③1週間程度留守にするため、時計を掛けてある部屋が暗いままになりますが時計は止まってしまうか(充電できない環境で何日動き続けますか)

○二次電池がフル充電された状態であれば、暗闇でも約6ヵ月間^(注)動き続けます。

充電が十分でない場合は、停止してしまうおそれがありますので、電源スイッチを「OFF」にしてお出かけになり、帰宅後、電源スイッチを「ON」にして、強制受信ボタンを押してください。

注) ご使用の環境によっては、6ヵ月に満たないで停止する場合があります。

④使い始めから6ヵ月以上経過してから「充電切れ予告」された

○発電量が少なく、不足分を二次電池から補っていたため、二次電池の電圧が低下して「充電切れ予告」がされたものと思われます。窓際など直射日光の当たらないところで充電させてください。その後、「明るさテスト」を行い、必要な明るさで必要な時間受光しているか確認してください。

⑤「充電切れ予告」がたびたびされるようになった

○「ソーラー発電について」(P.5)の条件を満たしているのに、「充電切れ予告」がたびたびされるようになった場合は、弊社、お客様相談室までお問い合わせください。

⑥ソーラーセルの交換は必要ですか

○長期間使用していると発電効率は低下してきます。実用上は交換の必要性はありませんが、強い光、例えば直射日光に長時間さらされると、発電効率が著しく低下して交換が必要となる場合もありますので、直射日光にさらさないでください。

⑦電源スイッチを「OFF」にしても秒針が動いている

○故障ではありません。回路上に残っている電気のためです。

Q&A こんなときには（電波編）

❶受信に成功してもテレビ、ラジオの時報または電話の時報サービスと合わない。

- 受信や針を動かす処理のために± 1 秒以内の表示誤差があります。これは故障ではありません。
- ノイズにより、誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して受信をさせてください。繰り返し誤受信する場合は、設置場所を変えるか、電波受信機能を「OFF」にしてお使いください。

❷なぜ、時計の正面または裏面を送信所の方向に向ける必要があるのですか

- 受信用のアンテナが電波を受けやすくするためです。

❸急に電波を受信できなくなった

- 送信所の定期点検や落雷などにより停波(停止) する場合があります。停波についての情報は通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)
- 近くにノイズの発生源がある可能性があります。ノイズ発生源から遠ざけてください。

❹明るいところでも秒針が 12 時位置で停止している

- 「充電切れ予告」機能が働いたためです。「充電切れ予告機能について」(P.11) をお読みください。

❺この時計を海外で使用できますか

- 日本以外の国で送信されている標準時の電波を受信することができません。海外で使した場合、まれに日本の標準時を受信して日本の時刻を表示したり、ノイズにより誤受信して誤表示するおそれがありますので、電波受信機能を「OFF」にしてお使いください。

電波受信機能の ON/OFF 操作について

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

■電波受信機能を「OFF」にするには（停止するには）

強制受信ボタンを押し、受信表示ランプの点灯に合わせ、およそ 1 秒間隔で 3 回押します。

ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようときには、操作を繰り返してください。

※電波受信機能が「OFF」のとき、強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから、時刻を表示します。

■電波受信機能を「ON」するには（開始するには）

先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、強制受信ボタンを押して受信を開始します。

■電波受信機能の状態を確認するには

強制受信ボタンを押します。

ON：受信表示ランプが約 3 秒間点灯します。

OFF：受信表示ランプは消灯したままです。

※電源スイッチ「ON」の状態で作してください。

※「充電切れ予告」がされているときには、操作できない場合があります。

ご注意

■電波が受信できない環境で、受信機能を「ON」で使用しますと、二次電池の消耗を早めるため、所定の性能を発揮できなくなるおそれがあります。電波を受信できないところでご使用になる場合は、電波受信機能を「OFF」にしてください。

■電波受信機能を「OFF」に設定してあるとき、電源スイッチを「OFF」にすると、設定は解除され、電源スイッチを「ON」にすると電波受信機能は「ON」になります。ただし、電源スイッチを「OFF」にして、秒針が動いている間に電源スイッチを「ON」にすると解除されないこともあります。

自動受信修正回数について

受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回／日
	最多 3 回／日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回／日 (2 時間間隔)

製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功している場合 表示精度 秒針 ± 1 秒 時針・分針 目盛りに対して 3 度 電波受信に失敗している場合 平均月差 ± 20 秒以内 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	- 10℃ ~ + 50℃
内蔵二次電池	リチウム 3V
ソーラーセル	アモルファスシリコン
そ の 他	標準電波による時刻の修正、受信表示ランプによる受信成功・失敗表示 充電切れ予告機能、電波受信 ON/OFF 機能、電波サーチ機能 明暗センサーによる秒針スリープ (夜眠る秒針)、明るさテスト機能

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この掛時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

支店所在地

札幌支店	☎003-0030	札幌市白石区流通センター 1-6-2	☎(011)863-3788
仙台支店	☎983-0045	仙台市宮城野区宮城野 2-10-36	☎(022)291-3235
北関東支店	☎370-0862	高崎市片岡町 3-2-12 エコーマンション 1F	☎(027)322-7892
東京支店	☎110-0005	台東区上野 6-16-22 上野T Gビル 5F	☎(03)5807-7814
名古屋支店	☎460-0008	名古屋市中区栄 5-19-31	☎(052)264-4581
大阪支店	☎542-0081	大阪市中央区南船場 2-7-30	☎(06)6264-2388
広島支店	☎730-0054	広島市中区南千田東町 1-12	☎(082)244-7774
福岡支店	☎816-0097	福岡市博多区半道橋 1-11-14	☎(092)471-5585

※電話番号や住所が変更されることがあります。

Y0405

M210-CXXZ